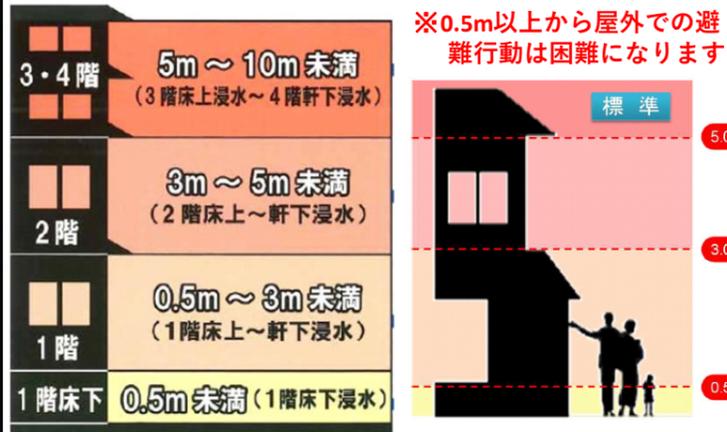


あきつ防災マップ【洪水編】

※このマップで示した浸水範囲は、1000年に1度の雨が降った場合に浸水する範囲・深さを示したものです。必ずこの範囲だけが浸水することを示しているわけではありませんので、普段から自分の身の回りで浸水しやすいところを確認しておきましょう！
 ※浸水範囲・深さは、熊本市統合型ハザードマップから引用しています。

【浸水深凡例】



【家庭のルールを考えよう！】

次の質問に答えて家庭のルールを決めておきましょう。

- あなたの家の浸水深は？
 ①0.5m以下 (ひざ下) ②0.5～3.0m (1階浸水) ③3.0～5.0m (2階浸水) ④5.0m以上 (2階水没)
- どの時点で避難を開始しますか？
 ①警戒レベル3 ②警戒レベル4 ③独自のルール
- どこに避難しますか (複数決める)？
 ① _____ ② _____

熊本市防災サイト



非常時で不安な時はこちらのサイトを確認ください

【校区の防災力を向上するための校区ルール】

- (平常時)
- 防災訓練の合同実施や防災関連の行事への参加、情報共有などを可能な限り行い、日ごろから小・中学校との連携を積極的に図る。
 - 町内一斉清掃時に水路や河川の状態を点検する。
- (被災時)
- 緊急避難道路を確保し、早期の避難を実施する。
 - 緊急時には校区外避難 (校区より北側) を検討する。

熊本地震の反省から、校区で決めたルールです。全員でルールを守り防災力を向上しましょう！

凡例

- 熊本市指定避難所
- 緊急避難道路
- 校区境界線
- 避難方向

【秋津校区防災連絡会からのメッセージ】

※洪水は早期の避難行動が大切です。どのタイミングで、どのルートで、どこに避難するか、事前に各家庭で考えておきましょう！
 ※「避難」は「難を避ける」ことが大事です。危機が迫った時などは避難所だけでなく、高い場所に逃げるなど垂直避難も考えましょう！
 ※特に避難行動に時間がかかる場合は、事前に周囲の人に伝えておくなど各家庭に合わせた準備を進めておきましょう！

【避難情報のポイント】

- ※警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- ※秋津校区では、北の方角 ↑ への避難を検討しましょう。
- ※避難先は小中学校・公民館ではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。



警戒レベル 4

警戒レベル 3

警戒レベル 1	警戒レベル 2	避難！ 高齢者等は危険な場所から	危険な場所から 全員避難！
心構えを高める	避難行動の確認	避難に時間を要する人は避難	安全な場所へ避難

気象庁が発表 市町村が発令

警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です
 警戒レベル4までに危険な場所から避難しましょう

